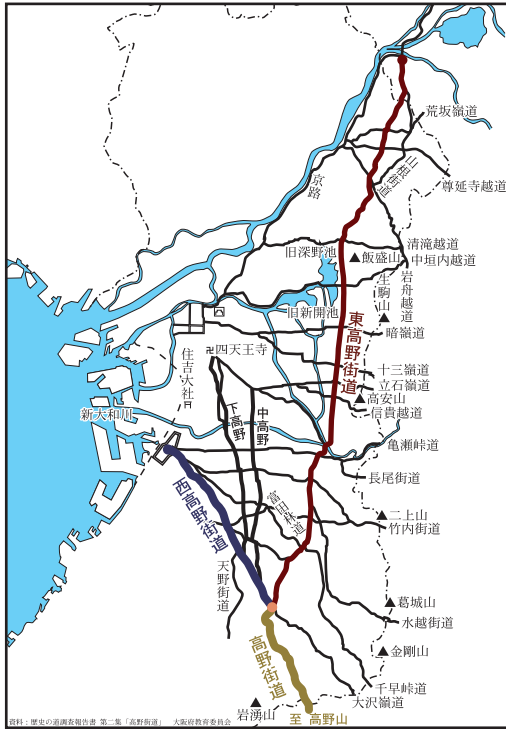
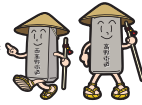


西高野街道・高野街道と交わる街道（大阪府）



しるべくん

街道を楽しく、元気良く、歩くことをイメージした「しるべくん」です。



表紙の写真

- ① 堺市 関茶屋
- ② 河内長野市 原町
- ③ 河内長野市 天見
- ④ 堺市 中茶屋
- ⑤ 河内長野市 清明塚

お問い合わせは

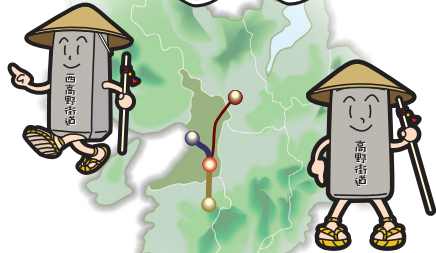
大阪府 都市整備部交通道路室 TEL. 06-6943-9445
道路整備課交通計画グループ



街道ウォーキングマップ



西高野街道
高野街道



大阪府

堺と高野山を結ぶ街道

堺から大阪狭山、河内長野を抜けて和歌山へ

高野山への参詣道

西高野街道は途中で中高野街道と合流し、その後、河内長野で東高野街道と合流し一本の街道となります。一本となった高野街道は、三日市から紀見峠の峠を越え、橋本を経て「高野女人堂」に向かいます。高野詣のために高野山へ歩いて行く「高野参拝道」のうち、重要な峠として発展する中世以降、堺を起点とする西高野街道は、高野参詣の本道として「高野道」と呼ばれ、多くの人が往来しました。

高野山女人堂への出発点・堺から歩く

堺の大小路と大道筋の交差点を起点として、東に少し進んだ竹内街道との分岐に「是より高野山女人堂江十三里」と刻された里程石があります。この里程石は、街道沿いの河内茶葉木村（現大阪狭山市）の農民小左衛門と五兵衛が発起人となり、堺市榎元町の十三里石から高野町神谷の一里石までの13本を安政4年（1857）2月から9月にかけて建立した道標と言われています。



里程石

古の旅人の賑わいを感じながら歩く

十二里石のある関茶屋には、茶屋があったことが地名の由来となっています。旅人の休息の場として賑わっていた面影を今も感じられます。



関茶屋のまちなみ

街道と合流・分岐する西高野街道

堺市と大阪狭山市との市境界の緩やかな上り坂の街道を進み、府道堺狭山線の岩室の交差点を横断すると、天野街道との分岐点にさしかかります。その分かれ道を左に進むと少し視界が広がる急な下り坂と池の前に出ます。この坂を下ると、おわり坂の交差点で下高野街道につながる道と合流します。そして、しばらく歩



道標

くと次は中高野街道と合流し、さらに進むと河内長野駅前で東高野街道と合流します。

易や陰陽道としての街道

中高野街道と合流した後、緩やかな坂道を歩くと、原町に清明塚があります。平安時代、安倍晴明という陰陽師（おんみょうじ=占いやお祈りを職業とする人のこと）が易や陰陽道（=現在でいう占いのこと）の本を埋めた場所であると伝えられています。かつては当地にお堂があり、昭和30年代にお堂の再建を願う周辺の人々の寄進で現在の石碑が建てられました。



清明塚への街道

西高野街道、東高野街道、高野街道の合流点

河内長野駅前近くとアーケードのある商店街があります。その商店街を抜けた出口に、平成18年3月に設置された高野街道を示す道標と説明板があります。この商店街のある本町周辺は、

高野街道、西高野街道、東高野街道の結節点として、古くから栄えてきた面影を今も残しています。



河内長野駅前合流地点

峠を越えると紀州・高野山

三日市宿は、堺より七里に位置し、ここから大和や和泉国へも街道が通じています。

また、身分を問わず高野参詣だけでなく、西国三十三ヶ所詣や葛城、吉野、大峰などの修験道行場を回る人たちが利用していました。ここから紀見峠を越えて、橋本、九度山を通り高野山へ向かいます。



高野山の大門

街道マップのご利用方法

このマップは街道の歴史や見どころを知り、街道散歩をより楽しんでいただくためのものです。街道沿いにある史跡や名所のほか、休憩所やトイレなど散策中に役立つ情報も盛り込まれています。分岐点など分かりにくいポイントには詳細図もついているので、ぜひマップを片手に実際に歩いてみてください。

※各ルートで紹介している歩行距離や標準歩行時間、標準所要時間および電鉄情報は目安です。

マナーを守って楽しい散歩を

- みんなが気持ちよく散歩を楽しめるように、マナーを守り人の迷惑になる行為は慎みましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 神社仏閣などでは静かに見学しましょう。
- 喫煙マナーを守り歩きタバコはやめましょう。
- 体調に配慮し無理のない範囲で歩きましょう。
- 史跡や自然を傷つけないようにしましょう。



環境に配慮し、高野配合率100%の再生紙及び大型インキを使用しています。